

革新・研究開発

研究開発精進産学合作奨助計画

入居企業による研究開発活動の奨励を目的に、2010年から「科学工業園区創新研究発展産学合作奨助計画」と「固本精進計画」を「科学工業園区研発精進産学合作奨助計画」として一本化。これまでに22件、総額8520万円の助成金が認められ、これらの案件に各企業が投じた研究費は1億5853万円にのぼります。

人材育成

人材育成補助計画

これは大学教育と現場の人材育成の橋渡しを目的に、三大園区の管理局が共同で実施しているもので、関係学部の大学3年、専科4年以上の学生の専門知識を高

めるとともに、産学協同や訓練課程の設置を通じて産業界と大学の積極的な相互交流を図ることで、産業界が求める技術・人材を供給していこうというものです。2009学年度計画(2010年7月まで)では南部12校の18課程(学生数1711人)に、2010学年度計画(2010年7月から)では11校の14課程に対し、総額980万円の助成が行われました。

専門・技術人材育成計画

南科では園内で働く従業員の専門・技術能力の向上を目的として半導体、光電子、精密機械、情報通信、バイオ、ハイテク経営管理などの人材育成コースが開設されています。2010年度に開かれた75回(計706時間)のコースに4回の講座を加えると、受講者数はのべ2906人にのぼります。全コースとも費用の85%を管理局が負担しており、2010年には計598.6万元が支出されました。



▼「専門・技術人材育成計画」2010年度課程の始業式にて(2010.6.8)